

退任のご挨拶

前兵庫教区教務所長
前本願寺神戸別院輪番

中尾了信



就任のご挨拶

兵庫教区教務所長
本願寺神戸別院輪番
松本 隆英



慈悲光照射のもと、兵庫教区内ご寺院の皆さま並びにご門徒の皆さま、また本願寺神戸別院のご門徒の皆さまには、益々ご健勝にてご法義相続のこととお慶び申しあげます。

平素は、教区運営、別院護持発展にご尽力を賜つておりますこと、厚く御礼申しあげます。

さて、この度4月1日付をもちまして、兵庫教区教務所長・本願寺神戸別院輪番を退任させていたたくことになりました。皆さまの御教導、御協力をいただきながら、2年間ではありましたが、お育てをいただきました。

コロナ禍の2年であり、着任した日から、関西でも緊急事態宣言が発出され、会議・研修会などが軒並み延期、中止となり、法務におきましてはご自宅にお伺いすることすら遠慮す

る状況であります。別院におきましても、例年賑やかな降誕会、永代経法要も内勤めとなり、本堂・ホールなどの人数制限を行い、来院の折りには、マスク着用はもとより検温・手指消毒の実施など、ご参拝の皆さまにご迷惑をおかけしたことであります。

夏を迎え、ようやく最低限の会議などを開催することができ、お盆前から少しづつではありますが、法務も増えていきました。ワクチン接種が始まり、回復することを願いました。が、新型コロナウイルスも次々と変異を繰り返し、収束がみられません。マスク生活で息苦しい3回目の暑い夏を迎えるとしております。

一方で、インター ネットを活用したオンライン会議を進めるため、組長さんのご尽力

により、各組にオンライン拠点寺院を設置いたとき、これを活用した会議、研修会などが試行でき、新しい取り組みの活動が動き出したことであります。

特に残念であったのは、報恩講での音楽法要ができなかつたことと、阪神淡路大震災総追悼法要での帰敬式ができなかつたこと、教区内を巡回できなかつたこと、そして何より、マスクを取つてお顔を見ながら、温かな息遣いと人の温もりを感じながら接することができなかつたことがあります。

今後は、自坊に戻り、法務に勤しみます。最後になりましたが、早くコロナ禍が収束し、御寺院におかれまして賑々しくご法要や法座活動が元に戻りますことを念じ、御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

4月1日より兵庫教区教務所長、本願寺神戸別院輪番を拝命いたしました。精いっぱい務めさせていただきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

私が初めて神戸別院を訪れたのは「阪神・淡路大震災」の時でした。当時、別院は新築工事中でしたが本願寺から派遣された救援隊員として、担当した別院周辺の被災寺院を訪ねて、ご住職から「今、必要なものは何でしょうか」と聞き取りをしたり、避難所に物資を運んだりしていました。当時を思いい起こすと、今こうして神戸別院に赴任させていただいたことを感慨深く思うとともに、重責を感じています。

着任して早速、年度始めの各教化団体の会議に出席させていただきたいと思います。会議を通して、あらためて兵庫教区はこれまでご住職

をはじめ寺族、門信徒の方々がお念仏繁盛のために永年にわたつて尽力くださつてゐるが故に法義地であることに敬服してゐます。

また、教区内各組にはオンライン拠点寺院が設けられていること。教区内の災害対応の安否確認システムの整備が進んでいること。教務所職員はスマートフォンでの業務管理ができ、職員同士の連携がとられていることなどばかり、仕事が進めやすい環境に驚いています。

一方で、コロナ禍が3年目を迎えました。各寺院においても法要行事の中止や規模縮小が続き、布教伝道活動に苦慮されていることと併察いたします。感染対策としてZoomやYoutubeを使った会議や法座も日常的に行われるようになりました。インターネットの利便性を享受できる環境を

やはりコロナ前のようになります。ご協力を賜りますよう、お願ひいたします。

いをいえ体元の りよ頃と。修る往來室、レギュラ統 こ来聴をノ、

2022年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(2022年4月1日～2023年3月31日)

[歳 入]

款項	費目	2022年度予算額	2021年度予算額	対比△減
1	賦課金	62,831,000	63,456,480	△ 625,480
1	本年度賦課金	62,830,000	63,440,000	△ 610,000
2	過年度賦課金	1,000	16,480	△ 15,480
2	宗派交付金	23,130,000	23,510,000	△ 380,000
1	各種助成金	15,130,000	15,510,000	△ 380,000
2	地方事務費	8,000,000	8,000,000	0
3	願記手数料	3,700,000	3,500,000	200,000
4	会費収入	1,700,000	1,700,000	0
5	回金	7,030,000	7,030,000	0
6	雑収入	2,509,000	2,503,520	5,480
7	繰越金	17,000,000	12,000,000	5,000,000
歳入合計		117,900,000	113,700,000	4,200,000

[歳出]

款項	費目	2022年度予算額	2021年度予算額	対比△減
1	教化事業費	40,335,000	40,490,000	△ 155,000
1	実践運動費	37,105,000	36,010,000	1,095,000
2	組教化助成費	3,230,000	4,480,000	△ 1,250,000
2	会議費	4,070,000	4,070,000	0
3	宗会選挙費	30,000	30,000	0
4	教務所費	67,110,000	65,330,000	1,780,000
1	職員費	60,210,000	57,630,000	2,580,000
2	事務所費	6,700,000	7,500,000	△ 800,000
3	災害対策費	200,000	200,000	0
5	回金	4,860,100	2,870,480	1,989,620
6	予備費	1,494,900	909,520	585,380
歳出合計		117,900,000	113,700,000	4,200,000

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年によせて

2023(令和5)年にご法要をお迎えするにあたり、今号より、四夷法顕さんに連載いただきます。親鸞聖人御誕生の意義、立教開宗が示す意味を、一緒に味わわせていただきましょう。

親鸞聖人に立教開宗の意図はなかつた!?

あつたのです。

「立教開宗」とは『浄土真宗辞典』に、「独自の教義を立て一宗を開く」という意とあります。ところが親鸞聖人は「高僧和讃」に、

智慧光のちからより

淨土真宗をひらきつつ
選択本願のべたまふ

と詠われているように、「浄土真宗」という宗義をひらかれた(開宗)のは師の源空(法然)聖人であるとされています。さらに『歎異抄』には、

よきひと(法然聖人)の仰せ
をかぶりて、信するほかに別
の子細なきなり。
と仰っていることから、「親鸞聖人には立教開宗の意図はなかつた」といわれています。確かに聖人の思いからすれば、その通りかもしれません。

しかし、かつてある先生より、「親鸞聖人には立教開宗の意図はなかつたが事実はあつた」と聞かせていただき、正鵠を射た表現と頷かされました。つまり、聖人ご自身は新しい宗派をおこす考えは少しもありませんでしたが、一宗を開くだけの十分な事実があつたといふことです。

法然聖人と親鸞聖人は、阿弥陀如来の本願のはたらきによつて救われていくという、本質的な部分では一致していますが、その法義の顯し方には大きな隔たりがあります。確かに

一般的に立教開宗には(一)宗名、(二)教えの根拠となる聖教、(三)仏教における自宗の位置づけ、(四)教えの相承、という四つの要素を明示する必要があるとされています。

第一の宗名は「浄土真宗」とい、第一の教えの根拠となる聖教は「大無量寿經」と定められます。第三の仏教における自宗の位置づけは、全仏教を阿弥陀如來の第十八願に摂めていくような「誓願一仏乗説」を打ち立て、浄土真宗を最高の仏教と位置づけます。

さらに、私たちが浄土に往生して仏のさとりを開く因と果の教義体系を確立されました。

これらの論理が詳しく説かれているのが、主著『顯淨土真実教行証文類』(『教行信証』)でした。

そして第四の教えの相承で、

四夷 法顕

阪神西組 信行寺住職
1985年生まれ
龍谷大学・相愛大学
非常勤講師
本願寺派宗学院研究員
文学博士

研究分野は日本浄土教、真宗学。今年度から地域情報誌(西宮)の編集に携わっており、地域コミュニティについても関心事のひとつ。

しかし、「教行信証」を著された結果、他の仏教諸宗にはない独自の教義を確立された「事実」を見るとき、この書が立教開宗の根本聖典とするに相応しい内容をもつていていません。

初めて学ぶ 親鸞聖人のご生涯

モダン寺で聞く
毎月第1土曜の
「弘法講座」

特別協力浄土真宗本願寺派総合研究所
忍寺)

四月一日付で天野将智さん(鹿児島教区川内組了忍寺)が入所いたしました。



新職員ご案内

第6回 晩年の親鸞聖人 講師 那須 公昭さん	11月5日(土) 毎月第1土曜 「承元の法難」から関東移住の執筆	東国時代の親鸞聖人 伝道活動と「教行信証」の執筆 講師 野村 淳爾さん
第5回 10月1日(土) 毎月第1土曜 「覚悟と気づき」	7月2日(土) 毎月第1土曜 ※8月・9月は休座 時 間 13:30~15:30 場 所 本願寺神戸別院 1講座 1,000円	
第4回 毎月第1土曜 「苦難の中の 覚悟と気づき」		

創業明治三十四年。一世紀前から受け継がれてきた想いは今も同じ。楽しいひとときに“おいしさ”を添えて、お客様に『満足』をお届けします。

各種大会・イベント等の折詰弁当ケータリング、おせち、出張パーティ、病院・介護配食サービス

厚生労働省 HACCPモデル事業所

一富士ケータリング株式会社



〒569-0034 大阪府高槻市大塚町5-21-1
TEL.072-673-0141 FAX.072-673-7288

【年中無休】平日 9:00~18:00
日祝 9:00~17:00

